

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	廃棄物減量啓発事業	会計	一般会計	事業No.	345	施策順No.	56-010
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-2-1-11-1		
政策	5人の営みと自然・環境が調和したまちづくり			課等名	環境課		
施策	56 廃棄物の減量と適正処理			事業期間	開始	終了	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	各まちづくり委員会環境部会						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	飯田市の人口(人) (H22.10.1推計人口)		106630	105691	105036	107000		
	飯田市小学校4年生数		1022	1070	1047	1067		
意図	ごみを減らす							
対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
	ごみ収集量(t/年)	24259	23757	22515	25200	22041	25100	B
	ポスター応募点数	791	679	502	700	627	700	
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	ポスター応募点数について、平成21年度と比較し125点の増加ではあったが、目標達成には至らなかった。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生を対象に廃棄物減量・適正処理に関するポスター原画を募集し、作品を掲示することによりごみの減量化を図る。</li> <li>環境衛生施設への視察を通じて、各地域の環境美化活動に役立てる。</li> <li>地域の美化活動を通じて、ごみ分別の徹底、ごみの減量を図る。</li> <li>ごみの適正処理啓発と不法投棄防止パトロール市民ボランティア講座を通じて、ごみ減量推進リーダー等を養成。</li> </ul>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋のごみゼロ運動の実施。・リサイクル工場、美化活動先進地視察研修の実施。・各地区美化活動、研修会への補助</li> <li>1 ポスター原画の応募、ポスター・副読本の作成</li> <li>2 容器包装プラスチックペール再生品工場等への視察</li> <li>3 各地域において地域環境美化推進モデル事業の実施</li> <li>4 ごみの適正処理啓発と不法投棄防止パトロール市民ボランティア講座の実施</li> </ul>	1 (1)ポスター応募点数 (2)ポスター作成 (3)副読本作成 2 研修視察回数 3 事業実施量 4 開催講座	1 (1) 627点 (2) 260枚 (3) 1,300冊 2 4回 3 29事業 4 10回
23年度実施計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>秋のごみゼロ運動の実施。・リサイクル工場、美化活動先進地視察研修の実施。・各地区美化活動、研修会への補助</li> <li>1 ポスター原画の応募、ポスター・副読本の作成</li> <li>2 容器包装プラスチックペール再生品工場等への視察</li> <li>3 各地域において地域環境美化推進モデル事業の実施</li> <li>4 ごみの適正処理啓発と不法投棄防止パトロール市民ボランティア講座の実施</li> </ul>	1 (1)ポスター応募点数 (2)ポスター作成 (3)副読本作成 2 研修視察回数 3 事業実施量 4 開催講座	1 (1) 700点 (2) 260枚 (3) 1,300冊 2 4回 3 30事業 4 5講座

3 事業コスト

事業費	特定財源	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (そ)ごみ処理手数料2,830千円
	国庫支出金					
	県支出金					
	起債					
	その他		111	2,830	590	
一般財源		3,927		3,733		
計(A)		4,038	2,830	4,323		
正規職員所要時間			1,040			
臨時職員等所要時間			260			
人件費計(B)			3,999			
トータルコスト A+B			6,829			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>各学校は、積極的に取り組み、副読本については、小学4年生の環境教育で利用されている。</li> <li>地域全体でごみの減量に取り組んでいくことが大切である。</li> <li>市民1人1人の関心と取り組みが重要である。</li> </ul>
--

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	①ごみを少なくする ②適正に処理・リサイクルされる	施策の成果指標又はムトス指標	ごみの収集量
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	子供のころからごみの分別の大切さ等に関心を持ち学ぶことにより、ごみの適正処理につながった。飯田市のごみがどのように再生されているのかを理解することにより、リサイクルの大切さを学びごみの分別の徹底を図った。		
	後期に向けた課題			
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	市民ボランティア講座を開催し、修了後、啓発活動やごみ拾いを行い、意識の向上を図った。		
	後期に向けた課題			
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	小学4年生を対象にポスター原画募集を実施した。		
	後期に向けた課題			
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	地域住民の取組みへの支援として、地域環境美化推進モデル事業への補助金の支出等は適切である。		
	後期に向けた課題			
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをされましたか、又は、配慮しましたか	4年間の振り返り	①市民自らによる、排出するごみの減量への取組み。 ②啓発活動による意識の高揚。		
	後期に向けた課題			
全体を通じて	4年間の振り返り	市民のごみ減量及び適正な処理・リサイクルへの意識は高まってきている。		
	後期に向けた課題			

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------